

○雨の多い季節ならではの花があります

○大輪の花を咲かせる大賀ハス

・古河公方公園一帯は、古代から湿地でした。そこで、湿地を代表する花として大賀ハスを千葉市から譲り受け、公園内の蓮田で育てることになりました。毎年大ぶりで優雅に咲くハスの花は、近づくと上品なハスの香りが楽しめます。大賀ハスの名前の由来は、二千年前の地層から中学生が発掘した種を、当時植物学の権威であった大賀一郎博士が発芽育成を成功させたことに由来しています。



- ①ハス
- ②ガクアジサイ
- ③ニワトコ
- ④ハンゲショウ
- ⑤ヘメロカリス
- ⑥ビョウヤナギ
- ⑦ノウゼンカズラ
- ⑧ナツツバキ

○ハスの花の寿命は4日

・早朝5時頃から咲き始め、正午までには花が閉じてしまうため、午前9時までが見頃です。



○原種の美しさが際立つ、ガクアジサイの花

・6月を代表する花といえばアジサイですが、園内には普通のアジサイと少し違うものが存在します。それがガクアジサイ。日本にあるホンアジサイは、このガクアジサイを品種改良してきたものです。



○白いニワトコの実もあるんです！

・ニワトコの実は赤いものがほとんどですが、ここには白いニワトコの実もあります。探してみましょう！



○涼しげな色合いの植物ハンゲショウ



・ドクダミ科の植物で、主に湿地を好みます。花のすぐ下の葉が白く変化し、花弁の役割を果たします。

○その他、公園を彩る花々



- ⑤ヘメロカリス
- ⑥ビョウヤナギ
- ⑦ノウゼンカズラ
- ⑧ナツツバキ

○熱中症に気を付けて、公園散策でコロナ禍のストレスを解消してください。

【発行】(一財)古河市地域振興公社 古河公方公園(古河総合公園) 〒306-0041 茨城県古河市鴻巣399-1 電話0280-47-1129

○てくてく情報は公式ホームページからもダウンロードできます。

古河公方公園 検索